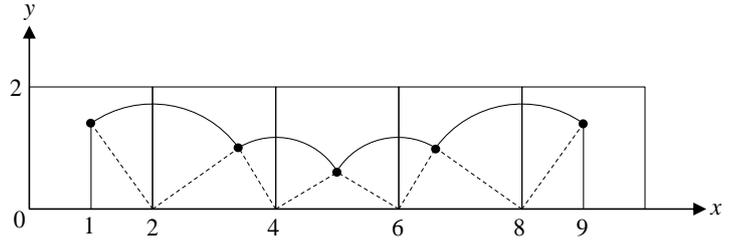


1977 年東大理 4

対称性から、 $1 \leq x \leq 5$ の範囲で考えればよい。

まず、 P は $A_2(2, 0)$ を中心に 90° 回転し、 $(1, a)$ から $(2+a, 1)$ に移る。

このときの回転半径は、 $\sqrt{1+a^2}$ であり、 P は円 $(x-2)^2 + y^2 = 1+a^2$ 上を動く。



次に、 P は $A_3(4, 0)$ を中心に 90° 回転し、 $(2+a, 1)$ から $(5, 2-a)$ に移る。

このときの回転半径は、 $\sqrt{1+(2-a)^2} = \sqrt{5-4a+a^2}$ であり、

P は円 $(x-4)^2 + y^2 = 5-4a+a^2$ 上を動く。

求める体積は

$$\begin{aligned}
 V(a) &= 2\pi \int_1^{2+a} \{1+a^2 - (x-2)^2\} dx + 2\pi \int_{2+a}^5 \{5-4a+a^2 - (x-4)^2\} dx \\
 &= 2\pi \left[(1+a^2)x - \frac{(x-2)^3}{3} \right]_1^{2+a} + 2\pi \left[(5-4a+a^2)x - \frac{(x-4)^3}{3} \right]_{2+a}^5 \\
 &= 2\pi \left\{ (2+a)(1+a^2) - \frac{a^3}{3} - (1+a^2) - \frac{1}{3} + 5(5-4a+a^2) - \frac{1}{3} - (2+a)(5-4a+a^2) + \frac{(a-2)^3}{3} \right\} \\
 &= 2\pi \left\{ 2+a+2a^2+a^3 - \frac{a^3}{3} - 1 - a^2 - \frac{1}{3} + 25-20a+5a^2 - \frac{1}{3} - (10-3a-2a^2+a^3) + \frac{a^3-6a^2+12a-8}{3} \right\} \\
 &= 2\pi \left\{ 2+a+2a^2-1-a^2 - \frac{1}{3} + 25-20a+5a^2 - \frac{1}{3} - 10+3a+2a^2-2a^2+4a - \frac{8}{3} \right\} \\
 &= 2\pi \left(6a^2 - 12a + \frac{38}{3} \right) \dots\dots (\text{答})
 \end{aligned}$$

$$V(a) = 2\pi \left(6a^2 - 12a + \frac{38}{3} \right) = 2\pi \left\{ 6(a-1)^2 + \frac{20}{3} \right\} \text{ より、 } a=1 \text{ のとき最小値 } \frac{40}{3}\pi \text{ をとる。 } \dots\dots (\text{答})$$